

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミC	単位認定	1	藤本明美

【ディプロマポリシーとの関連】

<技能・活動的領域(技能表現)>

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ: 学内に親子の広場をつくろう

到達目標:

- ・乳幼児の子育て家庭の現状やニーズを知り、親子で交流する広場の必要性について話し合うことができる。
- ・安心して過ごせる広場の環境づくりに向けて、主体的、意欲的に協力し合って取り組むことができる。
- ・親子とコミュニケーションを取ることができる

【授業の概要】

幼稚園、保育所や認定子ども園において、入園児以外の親子のために子育て支援事業を行っている施設が増えている。当学内にも親子の居場所として広場を立ち上げ、子育て支援事業を担えるよう学び、実践に向けての取り組みを進めていく。

- ・乳幼児の子育て家庭が孤立することなく、親子で交流する広場の必要性を理解する。
- ・親子(主に0～2歳)が利用している地域資源(広場・公園など)を見学し、ニーズを探る
- ・親子が安心して過ごすことができる環境づくりと受け入れの対応を考え、ゼミのメンバーで準備を進める

【全体の授業計画・内容】	【事前学習の内容 30分】	【事後学習の内容 30分】
1. オリエンテーション・ゼミ訪問	シラバスを読んでおく	関心のあるテーマの情報をまとめる
2. ゼミ選択・講義開始 アイスブレイクで関係づくり	シラバスを読んでおく	地域子育て支援に関心を持ち情報を収集する。
3. 地域子育て支援とは	地域子育て支援に関心を持ち情報を収集する。	資料を読み、理解を深める
4. 親子にとって居心地の良い環境とは	地域子育て支援に関心を持ち情報を収集する。	資料を読み、理解を深める
5. 地域資源見学	地域子育て支援に関心を持ち情報を収集する。	レポートをまとめる
6. 地域資源見学	地域子育て支援に関心を持ち情報を収集する。	レポートをまとめる
7. 地域資源調査のまとめと事例紹介	地域子育て支援に関心を持ち情報を収集する。	レポートをまとめる
8. 保護者の話を聞いてみよう	保護者の話をきく準備をする	レポートをまとめる
9. 親子のニーズのまとめとこれからの居場所づくりについて	地域子育て支援に関心を持ち情報を収集する。	レポートをまとめる
10.環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)	広場のオープンに向けて環境整備を進める。	広場のオープンに向けて環境整備を進める。
11 環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)	広場のオープンに向けて環境整備を進める。	広場のオープンに向けて環境整備を進める。

12.環境づくり(おもちゃ・壁面・情報コーナーなど)	広場のオープンに向けて環境整備を進める。	広場のオープンに向けて環境整備を進める。
13.親子が安心できる受け入れと対応について	広場のオープンに向けて環境整備を進める。	広場のオープンに向けて環境整備を進める。
14.親子の広場をオープンする(未定)	広場のオープンに向けて環境整備を進める。	レポートをまとめる
15.まとめとこれからの課題	課題を行う	これからのステップに活かす

【学習のあり方】

自分の住む町の子育て支援に関わる地域資源や、親子が過ごす環境について関心を持ち情報を収集し、学内での親子広場づくりに向けて意欲的に取り組むこと。

親子広場開催に向けて全員でやるべき課題を共有し、主体的に考えを出し合ってすすめる。

【成績評価】

学習の過程や態度、成果を総合的に評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

親子広場の環境づくりや話し合いを通して実践的にアドバイスをを行う。

【テキスト】

随時プリントを配布する

【参考文献】

授業中に指示する

【実務経験の有無】

地域子育て支援や親支援、親子の広場立ち上げの実務経験を活かして進める。